

感染症対策や、重症化リスクが高い方等への配慮に取り組みましょう！

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更され、感染対策は個人や事業者の主体的な選択を尊重し、それぞれの判断に委ねることが基本とされました。

しかし、感染症そのものが無くなったわけではなく、健康を守るために、感染対策は引き続き重要です。

安心して健康な毎日をつくるため、下記を参考に、各自での感染対策に取り組んでください。

令和5年5月8日 芦屋市

感染した場合や感染が疑われる場合は、慎重に行動しましょう

体調(の変化)に注意しながら、しっかりと療養しましょう。

また、発症の前後の数日間は、意図せず感染を広げてしまいやすいことに注意しましょう。

<考えられる対応>

- ・ 発症日(無症状の場合は検体採取日)を0日目として5日間(5日目に症状が続いていた場合は、症状が軽快して24時間程度が経過するまで)は外出を控える。
- ・ 次の期間は、感染が広がるリスク(又は感染が広がった場合のリスク)が高い場面・行動は避ける。
 - 1) ご自身の発症日(無症状の場合は検体採取日)を0日目として10日間
 - 2) 同居家族等の発症日(無症状の場合は検体採取日)を0日として7日間

「三つの密」に気をつけましょう

「換気の悪い密閉空間」「多数が集まる密集場所」「間近で会話や発声をする密接場面」の3つの条件が揃う状況では、クラスター(集団感染)が発生するリスクが高いことに注意しましょう。

<考えられる対応>

- ・ 「密閉空間」を避けるため、換気をする。
- ・ 感染症に対するリスクが高い方の参加が見込まれる場合等は、「密集」や「密接」に特に注意する。
- ・ 「密」が想定されるイベント等への参加は、ご自身の健康状態等を踏まえて検討する。

マスクの着用や、手指等の消毒について

感染を広げないための手段としてマスクを活用しましょう。また、ウイルスが付着した手指で目・口・鼻等を触ることによる感染を防ぐため、場面に応じて、手洗いや手指・物品の消毒に取り組みましょう。

<考えられる対応>

- ・ 発症日(無症状の場合は検体採取日)を0日目として、10日目までの期間のマスクの着用
- ・ 同居家族等の発症日(無症状の場合は検体採取日)を0日目として、7日目までの期間のマスクの着用
- ・ 感染が広がるリスクが高い場面(「密」が生じる場面等)や、感染が広がった場合のリスクが高い場面(重症化リスクが高い方と接する場合等)におけるマスクの着用
- ・ 食事前等に手洗いや手指消毒を行う。また、手洗いが困難な場合等を中心に、物品を消毒する。

